鳥羽商船同窓会 会長　　　菱田 司 様

事務局長　江崎 隆夫 様

鳥羽商船同窓会事務局 御中

関西支部長　籠田 弘之

商船高専5校合同進学ガイダンス

平成25年7月15日（海の記念日）に5校合同進学ガイダンスが神戸港 新港第一埠頭に接岸中の航海訓練所の銀河丸船上に於いて開催されました。これに関西支部から桑嶋相談役、岡崎理事及び籠田支部長の3名が参加し、母校のブースで手伝いを行いました。

会場は銀河丸（三世）の第一教室で180席と船内としては大きな会場でした。しかし、限られた場所で有り、かつ教室として造られていることから余分なスペースは無く、このために多数の参加者があり、ことから会場は略一杯になった感を受けた。

13：00より開会、最初は船主協会の挨拶、つづいて事務局から参加者の手元にある資料の確認と説明を行った。

その後、銀河丸船長が船の説明、及び一等航海士から船内の設備は陸上施設との違いを

説明し、見学・休憩中の移動時に充分に注意して行動するよう要請があった。

続いて、進学ガイダンスの主題に入り、最初は商船高専の学校の特殊性と存在する意義について商船高専5校を代表して大島商船の先生が説明をした。その後休憩を挟み、商船高専の卒業生2名が職場の魅力とやりがいについて自身の経験を基に説明した。

参加者を3班に分かれＤＶＤ鑑賞と銀河丸乗組員の協力を得て船内見学を実施した。

その間、各校のスタッフはブース作りをして参加者を待った。

参加者は順次第一教室に戻り、希望する学校のブースに着席した。着席の状況を観た所、鳥羽商船のブースが一番多く、用意した席では足りず、予備の席につき説明を真剣に聞いていた。また、他校のブースから移動してくる参加者のために入れ替えを行い、二回目の説明を行った。

以前は成績、寮生活について参加者が単独で説明を求めていたが今回は石田先生の説明が隅ずみまであったためか、多少の質問がありましたがほとんどの参加者は石田先生の説明で満足したように見受けられた。

その後各校のブースでの説明が終わり自然解散となり、17：30に大盛況のもと、進学ガイダンスは終了しました。

参加者は商船高専を受験することを念頭に説明に耳を傾けていたことが印象深く感じました。また、このガイダンスに参加した受験生が学校に戻り本音で先生、同級生に話しをすることにより、このガイダンスが自然的に広がり一人でも多くの優秀な生徒が参加してくれる事を期待したい。

以上